

2023年1月16日

川渡風力発電株式会社

(仮称) 六角牧場風力発電事業の事業計画の見直しについて

川渡風力発電株式会社は(仮称)六角牧場風力発電事業(以下、「本事業」といいます。)について、地域住民の皆様のご意見を尊重し、事業計画の見直しに着手いたしました。これに伴い、2022年12月6日に縦覧を開始した環境影響評価準備書(以下、「準備書」といいます。)を一旦取下げ、見直した事業計画に基づく新たな準備書を作成し、改めて環境アセスメントの手続きを行うことといたします。

本事業は、栗原市と大崎市にまたがる国立大学法人東北大学農学研究科川渡フィールドセンターの六角牧場の土地を借り受けて風力発電所を建設する計画であり、現行計画では、最大で高さ200mの風力発電機を17基設置する計画としております。

2020年より環境影響評価法に基づく調査及び手続きを実施するとともに、法定の説明会に加えて地域住民の皆様への説明会等を実施してまいりました。2022年12月6日からは準備書の縦覧を開始しておりますが、準備書縦覧に先立ち、地域住民の皆様への情報提供に努めることとし、2022年6月から様々な場において事業の及ぼす環境影響について説明を実施しております。

地域住民の皆様にご説明をする中で、東北を代表する観光地「鳴子温泉郷」に程近い六角牧場での風力事業実施に対するご懸念のお声をいただいております。今般、現行計画に対するお声を真摯に受け止め、総合的に判断した結果、現在の事業計画を見直すことが必要であると判断いたしました。

今回の判断に至る背景といたしましては、地域住民の方々のお声に加えて、鳴子温泉周辺で計画されている三つの大型風力発電事業に関して鳴子温泉郷観光協会から大崎市長へ提出された意見書などの他、大崎市長および栗原市長によるご発言等がございます。また大崎市議会にて議論された「地域にとってのメリット」についても地域住民の皆様にご丁寧なご説明が必要と考えております。一方で、地域住民の方々からは本事業に対するご支援のお声、本事業による地域貢献に対するご期待のお声もいただいております。このようなご期待にお応えするためにも、現在の事業計画を見直し、地域住民の皆様にご理解いただける事業の実現に努めるべきと判断したものです。

事業計画の見直しに伴い、再度の予測評価を実施する必要があることから、現在縦覧中の準備書は一旦取り下げ、実施済の調査結果と見直し後の事業計画に基づいて準備書を作成し改めて環境アセスメントの手続きを行うことといたします。

お問い合わせ

川渡風力発電株式会社 電話 011-280-1550 (担当:竹内)